

熱議: 10年後も残したい美山のいいところ、地域みんなで一緒に考えてみよう!

1月24日に開催した熱議では、5・6年生がそれぞれ考えたテーマをもとに、地域の皆さんと一緒に意見を出し合い10年後に残しておきたい美山についてどのような取組ができるかなど具体的に考えました。約30名もの保護者・地域のみなさんが集まり、5・6年生とあわせてランチルームいっぱいに熱く語る様子にもものすごい熱気を感じました。

9つのグループテーマがあるところへ、テーマに合った専門知識のある方や、その課題について一緒に取り組みたいと思ってくださった方に入っていたいただき、参加者それぞれの立場で大人も子どもも同じ目線で対等に意見を交わしました。

5・6年生の総合的な学習は学年の枠にとらわれずチームで取り組んでいます



①かやぶきの里景観維持

集落の景観維持のために、かやぶき民家の建物だけでなく、周辺の畑を覆う防草シートが増えていることを課題と考え、景観維持のために何ができるかを考えました。

- ・畑に防草シートを張らなくてもよい環境を作るために、草引きツアーを開きたい
- ・まずは自分たちが草引きを体験し、経験を活かしたうえで、ポスターなどを作り、ツアーを宣伝したい

③美山川のブラックバス

ブラックバスの存在が問題だと考えた子どもたち。解決策を考えたいと思っていましたが、地域の方と話をするうち新たな課題に気づきました。

- ・美山は意外にブラックバス被害が少ない
- ・在来魚が釣れにくい、在来魚を残したい
- ・外来魚のニゴイを釣ると500円で漁業組合が買い取ってくれる、そのお金で、外来魚をリリースしないよう訴えるポスター作製

②かやぶき民家の保存

より多くの方に、かやぶき民家の良さ大切さを知っていただくことが重要と考えました。そのために、何が必要でどのようなことができるのかを考えました。

- ・まずは北村で暮らす人たちが、今の観光の現状をどう思っておられるのか話を聞く
- ・集落に住む若い人が少ないという課題対策
- ・移住者、観光客に向けたポスター作製

④山をきれいに残すために

美山の象徴である美しい山を残すため、荒れた山が増える課題をどう解決できるのか、自分たちにできることを考えました。

- ・地域の人と協力してどんぐりを拾い、その苗木をハゲ山に植えたい
- ・また、地域の方や子供たちに山仕事を見学、山の景色を見てもらい、興味を高めてもらう



熱議で話し合ったことをもとに、具体的なアイデアをブラッシュアップ!

グループごとのテーマについてさらに話し合い、あるグループはより具体的に取り組みの内容を考え、あるグループは自分たちの知識をさらに深めるための学習に取り組むなど、それぞれの進め方で展開しています。これまで学年ごとに取り組んできた学習の中で継続しての取組が難しいことが課題でしたが、今回から学年にとらわれずにグループを構成しています。

9つのグループ枠内の後半部分では、次年度へ向けてテーマごとのまとめを紹介しています。今後一緒に取り組んでいただけるような地域のみなさまも引き続き募集しています。

⑤美山牛乳について

美山牛乳を使って自分たちで考えた新しい商品を実際に販売するため、何が必要かを地域のプロフェッショナルと一緒に考えました。

- ・商品開発を進めていくうえで商品を販売するために作り方を工夫する、地域の会社とコラボするなど検討
- ・賞味期限や値段、宣伝の難しさなど、まだまだ課題があるが、解決していきたい



⑥美山川について

地域の方たちと一緒に話し出すと、実は川について知っていることが少なく、まずはより具体的に考えることから始める必要があると気づきました。

- ・自分たちが今の川の様子を知らないという課題を解決するために、美山町内の川に実際に行ってみたい
- ・川遊びや魚つりをして川の様子や、釣れた魚の種類をまとめた図鑑を作りたい



⑦美山音頭について

子どもたちは見たことも踊ったこともなかった美山音頭。大人も子どもも運動会などで踊っていたという地域の方たちの話を聞くうち、自分たちもという思いが芽生えました。

- ・知っている人、踊れる人が少なくなっているという課題を解決するため、昼や夕方の時報、祭りを活用し、地域の中で流す機会を作っていくよう依頼
- ・運動会などを利用してみんなで踊ってみたい



⑧美山の観光を今以上に

かやぶきの里で知られるようになった美山町。観光資源は他にもたくさんあります。何を誰に伝えるのか、よりよく知ってもらうための方法などを一緒に考えました。

- ・美山をアピールするためYouTube動画を投稿
- ・観光客にアンケートを取り人気スポットを調査
- ・外国人向け動画を作成し、たくさんの人にPR

⑨棚野の千両祭について

地域の中でさまざまな原因から継承が難しくなっている大きな祭り。人材不足や金銭的な課題など、その具体的な課題と解決方法について、意見を出し合いました。

- ・祭の魅力などを描いたポスターを貼って、知ってもらい、募金箱をポスターの近くに置くと募金してくれる人があり、課題が解決できるのでは

熟議に参加してくださった地域の皆さんの中には、地域で具体的な活動を始めてくださっている方も！

美山音頭のテーマに参加してくださった皆さんは、その後、踊りを復活させようと、残されていたビデオを見ながら踊りの練習を始めておられるそうです。後日、具体的な活動を小学校の空き教室を使って開催されました。子どもたちのアイデアと同じように、「小学校の運動会で、皆でまた踊れたらいいなあ！」「防災無線で流したら、寝たきりのお年寄りも起きて踊り出さるかも？」とアイデアいっぱい話が弾んでいるそうです！

～このほかのテーマについても報告を続けていきます～

取組は地域にも広がっています！